

平成28年2月23日
目黒区立第七中学校
学校長 永久保佳孝

平成28年度 学校運営改善プラン

1 第三者評価の実施内容

- (1) 第1回学校訪問 平成27年9月24日(木) 午前9時20分～午後4時00分
- ・校長、PTA 役員、学校評議委員を対象としたヒアリング
 - ・教育活動の参観
- (2) 第2回学校訪問 平成27年9月29日(火) 午前9時20分～午後4時00分
- ・副校長、主幹教諭、養護教諭を対象としたヒアリング
 - ・教育活動の参観
 - ・評価者から学校への助言

2 評価者

国立教育政策研究所教育政策・評価研究総括研究官 植田 みどり
元新宿区立落合中学校長 馬場 宗生

3 今後の取り組み

評 価 内 容		○今後の具体的な取組
前年度の 学校評価 について	ア 四者による学校評価アンケート結果を踏まえた学校の自己評価の内容	○保護者に本校の教育活動を広く理解していただく機会を多く設定する。 ・年4回の授業公開期間を設定する。 ・行事を含む年4回の土曜日授業公開を行う。 ・各行事におけるアンケートの実施の他、夏季休業前に学校の教育活動についてのアンケートを実施し、生徒の意見や保護者のニーズを整理し、具体的な対策を立て、改善を図る。 ○教員の授業力を上げる。 ・生徒による授業アンケートを7月、12月、3月の年3回実施し、教員自身の課題を明確にし、改善を図る。 ・若手教員と主任教諭を組み合わせ、互いの授業の参観や、研修を行う。 ・全教員が年1回以上授業研究を行う。
	イ 学校関係者評価結果に基づいた学校運営改善の計画内容	○落ち着いた学校生活を継続させる。 ・規律と規範を重視した生徒指導を行う。 ・あいさつ、チャイム着席、授業態度の徹底を行う。 ○学校評価委員が来校する機会を増やす。 ・年4回の授業公開週間、行事を含む年4回の土曜公開授業の案内の他、都合の良い日や参観したい授業や取組のアンケートを事前に取り、ご案内する。

学 校 評 価 結 果 を 踏 ま え た 学 校 運 営 の 改 善 状 況 について	ア 教育課程 の実施状況	○研究成果の継続的な維持。発展させる。 ・年度当初、研修主任が新しく異動してきた教員に対して個別に説明すると共に、全教員に対しては前年度の取組の成果等を発表し、今年度のねらいを明確にする。 ・組織については、来年度2つの研究指定を受けているので、専門の担当部を作り、2つの研究が融合する形で研究を進める。次年度は担当部が研究の継続の中心となる。 ○少人数指導を充実させる。 （前年度の学校評価アの教員の授業力を上げるに関連して） ・少人数指導教科部会を月1回開催し、各教科の成功例や工夫、他校の取り組み等について意見交換を行う。 ・少人数指導を生かした授業を行うために、教科部会を週1回以上行う。
	イ 組織運営 等の状況	○企画会を更に充実させる。 ・連絡事項はC4 t h内の掲示板を利用し、教職員が毎日朝確認するように習慣付け、企画の時間は協議事項の話し合いに時間をしっかり確保できるようにする。 ・協議事項については、企画会の前にメンバーに提示し、各自が意見をもって会に臨む。 ・職員会議とスムーズに連動させるため、企画会は月曜日から火曜日に設定する。 ・主幹会議を月2回行い、現在の課題を明確にすると共に、具体策を打ち出していく。 ○組織活性化を目指す。 ・分掌主任が所属教員の校務分担を明確に示し、進捗状況を確実に把握する。若手教員への指導助言は丁寧に行い、見通しをもたせていく。
	ウ 家庭や地 域との連携 状況	○保護者・地域との連携を深める。 *保護者や地域の学校に対する要望を聞く。 ・2か月に1回程度、学年役員と学年教員が話し合う場を設定し、協力体制を構築する。 ・2ヶ月に1回のPTA実行委員会に全主任が参加し、PTA代表者の意見や要望を受け止め、改善を図る。 ・各行事の他、学校公開についても地域に呼びかけ、その際アンケートを実施し意見要望を把握する。 *保護者・地域との協力体制を構築するために ・HPの更新や、学年通信、学級通信など保護者や地域に対しての発信は増えてきているので、来年度も継続していく。 ・各種ボランティアについて、保護者のお手伝いも呼びかけていく。

特記事項	・ 特色ある教育活動 ・ 特筆すべき優れた取組	○放課後学習（プラタナス）の充実 ・ 毎日放課後行われるプラタナスを継続する。特に学習指導員と各教科担当教員の連携を意識していく。 ○キャリアアップ教室 ・ 英検、漢検、数検定の３つの検定に学校として積極的に学習する場を設けチャレンジさせていく。数検については年３回から４回に増やせるよう検討する。また漢検、数検について近隣小学校への声かけを行い、合同学習会を開催する。 ○各研究後の成果を維持発展 （学校評価結果を踏まえた学校運営の改善状況アに関連して） ・ いろいろな取り組みが成果として表れてきている。それらの継続と合わせて、来年度の研究指定校「人権尊重教育推進校」等を積極的に進めていく。
	・ 学校間連携の状況	○小学生が「七中へ行こう」と思える雰囲気作りを行う。 ・ 部活動の交流 ・ 「あいさつ運動」 ・ 出前授業の拡充 ・ 各行事への参加 ・ 教員間の交流 等 年間を見通して計画的な交流や活動を行う。